

「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」ニュース 31

発行：「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」 広報委員会
〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階
TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180
E-Mail csm-hq@eco-texj.co.jp
HP : <http://www.eco-texj.co.jp>

2007年
4月2日発行

春暖の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

研究フォーラム・ニュース 31号を配信させていただきます。

1. 1月18日第26回フォーラムセミナー開催されました。

開催にあたり近藤事務局長から開会の挨拶と近況報告がありました

<バングラディッシュでの社会的責任に関する問題発生>

- ・ CSR 関連の大きな事件としては、昨年秋、NGO・ナショナル・レイバー・コミッティがバングラディッシュ国内の一万数千人の従業員をもつ HARVEST RICH Ltd での児童労働、虐待問題について、同社の取引先である欧米の大手有数のアパレルと小売販売企業に対して訴訟を起こしている。

その反社会的問題が事実なのかは国連安全問題委員会が主体に現在調査中だが、ここで注目すべきは、訴訟のされているのが工場ではなく、そこから製品を仕入、これを販売している世界のトップ企業に対してであること、また NGO の Web にその労働者の写真画像とインタビューが掲載されており、該当する企業に苦情が殺到し、その結果同社に対するほとんどのオーダーが止まり、同時に多くの労働者が失業に瀕していて、誰が、何処がそれらの労働者の救済ができるかということである。

同社は ISO9000 や労働環境に関する WRAP 認証（米国 1998）を受けているが、問題は監査を受け、そこで指摘された事象についての是正行動とその維持がなされていないことにある。

なんらかの監査認証を受けても、その実態がどうなのかという大きな問題を含んだ事件である。

<「ものづくり」から「ものごとづくり」>

東京工業大学名誉教授・当研究フォーラム清水二郎顧問は、20世紀の「ものづくり」の時代から21世紀は「ものごとづくり」の時代へ移りつつあるという話に触れられました。（この詳細記事は日本アパレル工業新聞に掲載されました）

<新 JIS マーク制度及び検査機関の法令遵守>

財団法人日本繊維製品品質技術センター（QTEC）・システム管理部兼適合性評価センター・部長代理宮崎博司氏より企業事例報告がありました。

QTEC での品質評価、技術評価をはじめとする業務概要をご説明いただいた後、平成17年10月1日から始まった新 JIS マーク制度の改正の要点と仕組みについて解説をいただきました。

QTEC は、平成18年5月26日付けで、この新制度・工業標準化法の登録認証機関に認可され、新JISマークを表示しようとする企業に対し、そこで製造されている、または取引されている製品について認証することができる機関になったとのことです。また検査評価機関であるQTECとして、遵守している法的要求事項及び規制要求事項について整理と解説をいただきました。

<GHS 国連勧告を踏まえた改正労働安全衛生法>

事務局から、2003年7月の国連経済社会理事会で採択された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム (The Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals)」に基づき、平成18年12月1日改正労働安全衛生法が施行されたことと、この化学物質等の表示・文書交付制度について厚生労働省から発行されている資料について情報解説させていただきました。

(なお、詳しくは4月18日に開催されます「国際フォーラム2007」で厚生労働省・専門官からご講演をいただく予定です。)

<CSM2000 構築「環境分野」の解説がはじまる>

前回のフォーラムセミナーで「システム要求分野」についての解説を一旦終えることができましたので、今回から新たに「環境分野」の1. 環境要求事項～3. エコについて、事務局より説明させていただきました。

2. **第5回理事会及び通常総会が平成19年2月28日金曜に開催されました**
理事会および通常総会、何れも定足数に達し、提案された6議案は全て承認採択されました。
今回は任期満了にともない役員改選があり、9名の留任と3名の新任役員を選任いたしました。
(詳細につきましては既に会員の皆様に議事録をお送りさせていただいておりますのでご参照ください)
3. **第5回「CSR&コンプライアンス国際フォーラム2007」が開催されます。**
本年も、来る4月18日水曜日に両国江戸東京博物館会議室にて「国際フォーラム2007」を開催します。詳細はすでにご案内をお送りさせていただいていると思いますが、もしお手元になければ事務局にお申し出くださるようお願い申し上げます。
4. **第27回フォーラムセミナー開催**
次回フォーラムセミナーは5月24日木曜・午後を予定しておりますが、詳細につきましては4月下旬にご案内を差し上げる予定です。

以上